

就職支援活動

Career Development

1. 学生支援総合センターでの取り組み

学生の皆さんにとっての充実した学生生活を保障することを目的とした学生支援総合センターには、就職活動支援部門が設けられ、そのなかで就職・キャリア形成推進室が皆さんの就職活動を支援しています。皆さんが自信をもって自らの進路を確定し、かつその希望を実現できるように、以下のような支援事業を企画・実施しています。

- 学生への就職情報の提供、各種就職に関わる相談
- 企業や公務員の就職を希望する学生のための就職ガイダンスの開催
- 学生と企業間における問題の解決支援
- 企業からの情報収集と企業への大学PR
- ジョブフェア(大学主催による企業説明会)の開催
- 1年次から始まるキャリア形成の授業やインターンシップの開設



学生支援棟



就職・キャリア形成推進室

2. 各学部の就職支援体制

教育文化学部

就職情報室を設置し、学生が活用できるよう、就職に関するデータを収集整理しています。キャリア形成に関する授業を開講し、試験対策、エントリーシートや志望動機の書き方、面接を受ける際の注意点等について個別に学生の就職活動の支援を実施しています。

工学資源学部

各学科に就職担当教員を置き、学生の就職指導に当たるとともに、就職資料室を設置して就職情報を提供しています。また、学部に就職活動アドバイザー室を設置し、エントリーシートの書き方、面接の受け方など学生が就職活動全般にわたって相談できる体制を採っています。

医学部

医学科

医師免許取得後2年間は、プライマリ・ケアの基本的な診療能力の習得を目指して、各科のスーパーローテーション研修(臨床研修制度)が義務付けられます。研修先はマッチング登録により自由に選択できますが、本学科では附属病院内に卒後臨床研修センターを設置して初期研修並びに専門医研修のきめ細かいサポートを行っています。また、研修に関する説明会も年数回行っており、卒業生や各科専門医からのアドバイスを受け取る機会を設けています。

保健学科

看護学専攻では、4年次のチュートリアル担当教員が学生個々の進路の相談・支援にあたっています。また、就職・進学支援担当教員を3名配置し、就職施設の選択や病院見学会、採用試験情報の提供など、学生の進路決定を支援する体制を採っています。

また、理学療法学専攻、作業療法学専攻では、4年次の担任を中心として就職・進学に関する相談を受ける体制を整えています。